

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	SOLISTE		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動、音楽活動が活発であること。集団活動を日常スケジュールに取り入れているため、保護者様のニーズが多い「人間関係・社会性」の課題に応えることができている。	児童が楽しく取り組むことができるよう、その日の利用児童の特性や課題を踏まえたプログラムを提供している。また、朝のミーティングでは職員間で危険予測を立て、計画した活動が安全に提供できるように職員一人一人が支援にあたることができている	「発達のお台づくり」ということにフォーカスし、様々な楽器や運動器具を取り入れプログラムの幅を広げていきたい。
2	職員一人一人が利用者様に対し真摯に向き合い接してくれていることで保護者様との関係づくりができており、情報共有が徹底されることで満足度を得ることができている。	日々の活動を写真を添えてその日のうちに保護者様に共有している事が、送迎職員だけではなくプレイルームの職員も積極的に保護者様との関わりを持つことに繋がっている。	専門性を高めるため、研修（外部も含め）の機会を増やしスキルアップに繋げる。
3	「遊び」の場を提供することができている。	児童の課題を「遊び」を通して学べる環境であること。集団活動においてもトラブルが起きないように距離を見守り、小集団で行うようにしている。	児童が気持ちの切り替えができるよう、スケジュールの見直しを立てることや「活動を提供する」事を、一人の職員で決めず連携しながら包括的に支援していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他施設や園などでの児童の様子について情報共有をする機会の確保に課題を感じている。	送迎時以外での共有の場を持つことができていない。	関係機関との連携を強め、今後担当者会議に繋げていけるように働きかけていく必要がある。
2	保護者会やペアレントトレーニングなど、オープン当初掲げていたことを開催する機会が少なかった。	イベントでは保護者参加を呼びかけることはあったが、思ったように参加が少なかった。保護者一人一人に合うアプローチの仕方を模索していく必要がある。	家族支援に力を入れていくためにヒヤリングの機会を増やしたい。ただ、支援に十分満足しているから必要がないとの意見があったため、保護者様のニーズも考慮しながら計画していく。
3	オープンしてから今日まで、地域との連携や交流の機会がなかったこと。	受け身の姿勢のために地域へのインクルージョンの推進に尽力できていない。職員一人一人が地域への意識を高めていけるよう人材育成にも注力していく。	ニーズの高い食育・クッキングイベントを企画し土日に開催していく。また、区の催しや地域の行事などにも目を向け、事業所に取り入れることができないか検討していく。

事業所名	SOLISTE	公表日	2026年2月21日
		利用児童数	2026年2月 19人
		回収数	11

	チェック項目	はい	どちらとも	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	0	0	0				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11	0	0	0				
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	0	0	0				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	10	0	0	1	まだオープンしたばかりなので当然と言えますかもしれないが、綺麗だし、スペースも十分広いと感じている	今後も事業所の美化と安心できる環境づくりに努めてまいります。		
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	1	0	0	言葉がなかなか出てこなかったのですが、通い始めてから、たくさんお話ししてくれるようになりました。保育園での集団生活ではなかなかできない発達に合わせて一人一人寄り添って支援していただいているので、ありがたいです。また、子供も楽しく通っているようなので良かったです。	ご意見ありがとうございます。一人一人に寄り添った言葉かけや支援を行い、お子さまの成長に携わっていただけるよう職員一同尽力して参ります。		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	0	0	0				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10	0	0	1				
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	0	0	0			個別支援計画が形式上のものでなく、しっかりと意識して普段、子どもと接していただいていると思う	日々の申し送りを徹底し、目標に向かってできることが増えていけるよう今後も支援をさせていただきます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	0	0	0				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	1	0	0				
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	3	2	4				
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	0	0	0				
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10	0	1	0				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	3	3	1				
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11	0	0	0				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	0	0	1				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	0	0	0				
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	3	3	4	十分にいただいていると感じているので、別途、保護者会とペアトレ関係の開催は個人的にはなくて構わない。またやるべきことが増えたと感じてしまう。	貴重なご意見ありがとうございます。一人一人に寄り添い、保護者様の負担にならない形も模索していこうと思います。			
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	2	0	2					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている と思いますか。	11	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体 制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発 信されていますか。	7	2	0	2	利用後にLINEで写真や動画を送って くれるので、利用中の様子を確認 できるのが良いです。	日々の様子を共有することを大切に しております。今後も続けていただき ます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	0	0	0		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニ ュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されて いますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	0	0	4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な 訓練が行われていますか。	7	0	0	4		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される 等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	9	0	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や 事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	0	0	1		
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	0	0	0	利用を伝えると喜んでくれているの でよかったです。	ありがとうございます。お子様が「楽し いと思ったださること」が、できるこ とを増やすために大切だと思ってお ります。今後どうぞよろしくお願 いいたします。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	0	0	0	とても満足しています。いつもあり がとうございます。	

事業所名		SOLISTE		公表日 2026年 2月 21日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	4		3階建ての建物なので、部屋を移動するのに安全に配慮した職員配置を行い、また、イラスト等で部屋の役割や物の配置の視覚支援は増やしていくべきである。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3	安全配慮を心がけ、怪我のリスクを常に考えて支援にあたっている。また、階段の昇降は特に職員の誘導を徹底している。	運動エリアの安全な環境づくりの完成を目指したい
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	おもちゃの消毒など定期的に行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	個別支援のための学習室や心身の状況によって過ごせるカムダウンスペースがある。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1	平日のミーティングの他に、月に1回全体ミーティングを行い、業務や児童の様子を振り返り、支援の画策を測っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2		来年度以降取り入れていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		日々ミーティングを行い、意見を発言する場を設けている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2		今後行っていきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0		支援を深めるための研修の機会を増やしていきたい
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	個々の目標に沿って適切な個別支援計画を作成しております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0		個別支援計画書の原案を元に職員に意見を求め、反映している。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	2	支援計画書のみならず、日々児童の共有を徹底し、支援に活かしております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1		その日の出勤の職員で1日のスケジュールを立て、支援の内容を決めている。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	利用状況等を鑑み、よりニーズの高いものにできないか毎月検討しています。	日々内容を考え、固定化しないよう工夫している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0		出勤者一同で毎日の活動内容を特性に合わせて考えられている点。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2		できる日とできない日がないよう今後は日々の業務として取り組む。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	行った課題に関する評価を記録し、職員全員に共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	半年に1度モニタリングを行い、保護者の意見と擦り合わせ更新しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	相談支援の方とは定期的に児童の共有を行うことができている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	3		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	4		今後は機会を設けていきたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	6		活動ができる場を検討していきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		保護者と連携の部分で、機会を増やし意見交換を行いたい。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2		個別での対応はしているが、全体に向けての集まる機会を今後は設けていきたい。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	保護者様には事業所のプログラムを理解をしていただいでご利用していただいている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	モニタリングを行い、現状の把握や今後の支援について話し合う場がある。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	1		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	2		保護者会の機会を増やしたい。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	送迎時に共有したことや日々の連絡の中でいただいた相談に対して、真摯に対応させていただいている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	2	毎月のお便りやブログなどで活動を報告している。	発信頻度を上げていきたい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	職員全員個人情報の取り扱いには徹底して管理している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5		事業所のイベントであったり、地域の行事など、交流できる機会を検討していきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1		保護者に向けての情報発信を強めていきたい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1	防災訓練を定期的に行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	保護者様とのモニタリング時に、アセスメントを取らせていただいています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	活動それぞれの危険予知を踏まえ、児童が安全に過ごせるよう、職員間の連携を徹底し支援にあたっている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		毎月のお便りで周知していく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	毎日のミーティングにて前日のヒヤリハットの有無を確認し、再発防止に努めている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	定期的に委員会が開催されている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	1	契約時に保護者様に説明を行い、同意をいただいている。		

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		SOLISTE			公表日		2026年 2月 25日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	4				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3	安全配慮を心がけ、怪我のリスクを常に考えて支援にあたっている。また、階段の昇降は特に職員の誘導を徹底してい			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	感染症対策として、おもちゃの消毒など定期的に行っている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	個別支援のための学習室や心身の状況によって過ごせるカムダウンスペースがある。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1	平日のミーティングの他に、月に1回全体ミーティングを行い、業務や児童の様子を振り返り、支援の画策を測っている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	一人一人の職員の支援の質を目指したい			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	運動、音楽、制作、SSTを主軸とし、利用児童の状況を加味して日々プログラムを話し合っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	出勤者一同で毎日の活動内容を特性に合わせて考えられている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	できる日とできない日がないよう今後は日々の業務として取り組む。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	行った課題に関する評価を記録し、職員全員に共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	3		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	3		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5		今後機会を作っていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	5		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	送迎時にはその日の申し送りとラインでのお写真をお送りする際に共有しております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	1		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	3		保護者会の機会を増やしたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1	送迎時に共有したことや日々の連絡の中でいただいた相談に対して、真摯に対応させていただいています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	2	SNSやホームページ、リタリコで日々の様子を掲載しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	職員全員個人情報の取り扱いには徹底して管理している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5		まだそのような機会がないため、今後検討していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	定期的に内部研修は行われております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1	防災訓練を定期的に行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	保護者様と確認をしております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	保護者様にはモニタリング時にアレルギーに関してアセスメントを取らせていただいております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	活動それぞれの危険予知を踏まえ、児童が安全に過ごせるよう、職員間の連携を徹底し支援にあたっている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	毎日のミーティングにて前日のヒヤリハットの有無を確認し、再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	定期的に委員会が開催されている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	契約時に保護者様に説明を行い、同意をいただいている。		

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名		SOLISTE				公表日	2026年2月25日	
						利用児童数	2026年2月 8人	
						回収数	4	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4	0	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	2	0	0	2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3	0	0	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2	2	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3	1	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4	0	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2	0	0	2		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4	0	0	0		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1	0	2	1		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	0	2	1	1		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	4	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3	1	0	0		
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	0	1	2			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3	0	0	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2	0	0	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	0	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1	1	0	2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3	1	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4	0	0	0	些細な事でも報告して下さって、安心信頼できる先生ばかりで助かっております。	ありがとうございます。今後も一人一人に寄り添った支援を行い、保護者様との共有を大事にして参ります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	4	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	3	1	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	4	0	0	0	どなたも優しく子供が先生達大好きなので、先生達には未永く在籍して下さったらなと思っております。	ご意見ありがとうございます。今後の人事異動等は未定ですが、これからもSOLISTEの職員一同一丸となって支援に携わって参ります。

○事業所名	SOLISTE		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 28日		2026年 2月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2026年 1月 28日		2026年 2月 18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ブレイルームに隣接して学習スペースがあり、環境設定ができています。	あらかじめ各児童のスケジュールを立て、宿題の促しや個別支援につながるようしている。	視覚支援を充実させ、児童がより安心して集中できる環境を作っていく。
2	運動、音楽、制作、SSTを日々プログラムに設定し、集団活動の場が提供できている。	自然に社会性を学べるようなグループ分けて内容を決めている。また、思いっきり走ったりできるよう安全に配慮に努めている。	視覚優位、聴覚優位様々な児童がいる中で、どの児童にとってもわかりやすい指示の提示を行い、児童が楽しく取り組めるようさらに工夫していく。
3	保護者様との良好な関係性	利用者の満足度を上げられるよう、一人一人に寄り添った支援を心がけている。	より職員一人一人の専門性を高めるため、内部（外部も含め）の研修を充実させていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他施設や学校などでの児童の様子について情報共有をする機会の確保に課題を感じている。	送迎時の申し送りが主となっている。より深く児童を取り巻く環境や状況の把握に努めたいと考えている。	保護者様からのニーズと、関係機関からの情報を総括して支援を行うことができるよう連携を図っていく。
2	保護者会やペアレントトレーニングなど、オープン当初掲げていたことを開催する機会が少なかった。	イベントでは保護者参加を呼びかけることはあったが、思ったように参加が少なかった。保護者一人一人に合うアプローチの仕方を模索していく必要がある。	事業所での活動をより深く知っていただけるように発信の回数を増やしていく。保護者様に自発的に参加していただける仕組みづくりを画策していく。
3	ケアニーズの高い児童に対する支援	強度行動障がいへの理解を職員全員で持てるようにしたい。	児童の特性を踏まえた見通しの立て方や視覚支援の仕方など、支援が全職員対応できるように、研修を受けて支援にあたれるようにしていきたい。また、こだわりの強い児童が安心して過ごせるように感覚グッズを充実させたり空間作りを見直す。